



地方扱集成

7保3  
9347



門 7 保 3  
番 1.347  
卷 1

73

地方扱集成後篇卷之壹

目録

淨觸書之部

故教文早川早治氏遺墨記



生類之哀也三淨觸之事  
 多々二奉田畑三他三乃及淨觸之事  
 恨吹也一之事  
 酒造平五分一造之事  
 生類哀三淨觸也三事  
 猪麻菘也三玉込猪也三可打事  
 淨系平三事

涉料私假共言百石月令亦為正名也  
大踐出集之事  
公事海記月日銀之喜物之行也制禁之事  
麻十判之事  
三皇附情棄之事  
質地年季明之事  
隱語物正指以紀之事  
文字金銀引換之事  
百姓年及法役之物動定之令刻之事  
深編益旁間委之事

借金銀或許有之通之相也之事  
然一油之事并法固寺社調之事  
唐船括為之事  
百姓所持之此亦寺院寄附停止之事  
及退無令之事  
銀鮮人參之事  
諸職人受願 勅許子孫傳之事  
子之產亦之殺之事  
道中病人之扱之事  
真銘涉之事

夢 所叙菩提所之及奇蹟無用之事

百姓徒違之事

國八列 所希下地強物所持書出之事

百姓兵江戶地頭門茶の強引之事

南條く唱の浪之事

濤砂之事

前之説評書法宗字の如の振之事

角力無引之事

虚無僧百姓家の禰つりの首之事

石次舎所之事

互方くこの上語人言武家奉公人給金借之事

百姓町人く憐盲人之事

地方振集成

卷之壹

元録十五年十月

一 地度堤 公儀 作出書付

法人仁愛之心有之根々常々作出如生類未  
あはまき之儀度之 作出如之度格本格之助  
大と損う一之度之 思召如依之死罪之作出之  
人々仁愛之心之根々大才小才共之作出之と急  
下中合考也

同年三月

一 送前々多業粉に田畑未々他名處を破るは  
連々多々此大分造りし未未年分多々此他之儀  
當年之他年々事分他之儀未分之所土地を  
之穀物之他々之儀未分年分多々之可也  
曲事之可也

一 近年銀拂底々由其少有之通用之自由其  
銀吹送之 作付之儀以送銀後之世分其底有  
銀之新銀と同根之儀未分古銀新銀  
之受其之方法未分其儀未分之儀未分上細  
銀も之儀同根事

一 新銀出年銀底より出之世分古銀之儀未分其  
銀之負數之儀未分其儀未分何商賣之儀未分  
賜子次多々其儀未分持之儀未分其儀未分

一 銀之儀未分其儀未分其儀未分其儀未分其儀未分  
其儀未分其儀未分其儀未分其儀未分其儀未分

一 附り古銀銀底より出之儀未分其儀未分

一 昔昔重造之儀未分其儀未分其儀未分其儀未分  
酒之儀未分其儀未分其儀未分其儀未分其儀未分  
一 未未春在酒造年分其儀未分其儀未分其儀未分  
其儀未分其儀未分其儀未分其儀未分其儀未分

此事







之者、は 係出るる 諸国 何れ、より 以 量 買 法 存 方  
海 方 之 際 兵 今 出 之 新 之 文 一 通 用 之 可 但 大 之 錢  
一 錢 八 兵 今 之 十 錢 之 相 當 之 移 之 事  
一 唯 今 出 之 新 錢 金 之 多 之 錢 之 方 之 文 之 可 之 移  
定 之 丈 之 高 下 之 移 之 相 當 之 大 之 文 之 通 用  
可 仕 之 事

附 大 錢 之 事 之 用 之 仕 事

- 一 大 錢 外 之 移 之 事 之 用 之 仕 事
- 一 大 錢 通 用 之 事 之 用 之 仕 事
- 一 大 錢 之 用 之 事 之 用 之 仕 事

此 藏 之 事 之 用 之 仕 事

觸 之

- 一 以 日 之 用 之 事 之 用 之 仕 事
- 一 以 日 之 用 之 事 之 用 之 仕 事
- 一 以 日 之 用 之 事 之 用 之 仕 事

正 德 四 年 年

- 一 公 事 之 用 之 事 之 用 之 仕 事
- 一 公 事 之 用 之 事 之 用 之 仕 事
- 一 公 事 之 用 之 事 之 用 之 仕 事













右之役未了向為整屋と初法高賣物代令有整  
金等之計下後無用之居又武家方並町方百姓亦  
不後及之の有之以下と為整屋占其支配、下中出  
此後彼是強強中一戸一歩限未と有之と為整屋有之  
以下其下之支配以下中出、以下使之と有之  
下中出右之強強中一戸一歩限未と有之と為整屋  
私願支配之地類以下中出

寶永八年

一 総州小金 一月寺武州吉野 珍法寺 門方と  
寺用之際 簿定在之 寺賣 什と有之 以本寺

又之國之其之為寺右未流之寺院占市經法高賣  
合寺持系子致以下 處無僧兼町人たとして 賣  
下中出以下 寺賣 什と有之 以本寺  
一 借金浪區令 市經法高賣 及公將寺行 所裁許  
中出之寺 在裁許 之無之 寺賣 什と有之 以本寺  
負數其之寺 之寺 又寺 寺賣 什と有之 以本寺  
在町方 借利 之寺 寺賣 什と有之 以本寺  
評定所 之寺 寺賣 什と有之 以本寺  
其今 寺賣 什と有之 以本寺  
中出 寺賣 什と有之 以本寺



- 一 氏子守護の社ありとも書作し類々社人有らむ
- 一 社古来より有るは社少分り社多し書記すべし
- 一 社人等も無し社少分り社多し書記すべし
- 一 物々社より由來由緒未だ不及書記し事
- 一 國々郡府の友之記一國分計り何國と云ふ
- 一 其為り有らむ社号中一書す事
- 一 社号旧号と替りし多し當時に稱号と書付

旧号何ぞ社と云ふ事

宝曆十年

- 一 唐紙振荷の儀 淨制禁の事 一府急知相及

中儀白簿の事 一他は唐阿華院正の物  
 高しは儀も如何に遠 潤華の事も有らむ  
 亦何の正何物賣買の儀共は又云ふ事  
 末くはよの心遠正何物賣買の儀共は又云ふ事  
 其如くは又云ふ事 正何物賣買の儀共は又云ふ事  
 以る事ありて是も廣く賣買の事ありて是も  
 得与否に依りて是も亦行亦不行也  
 右に在寛保元年事也 其の年久矣 其の如く  
 忘却すべし 其の如く 其の如く 其の如く  
 一 御解人參りて儀 世上人參りて掃庭に在りて

病用いさむも多き事なく、お用ひがごとく、病も後  
せざらば、このも多し、有らん、日平、言も、お母、お母、  
為民、お救い、する、先、御代、御親、あ、人、多、種  
御、お望、と、極、る、野、世、今、平、を、多、お、作、く、世、其  
御、能、市、様、一、有、らん、全、く、御、解、一、人、多、二  
之、お、替、は、何、卒、深、山、に、能、く、来、く、この、其、ま、  
行、居、る、種、様、く、世、話、と、極、は、其、後、陸、奥、国、に、お、始  
候、く、御、情、長、は、何、お、割、法、と、候、有、法、人、お、救、く、有  
祐、因、組、所、所、人、多、く、在、お、立、一、この、お、法、并  
別、法、名、あ、く、この、も、下、巻、と、作、付、関、八、州

陸奥、信、濃、東、海、尾、等、京、大、指、ま、く、臺、法、お、割、法  
人、多、く、信、濃、取、く、言、様、一、お、割、法、御、能、色、は、候  
お、守、先、達、言、唐、お、人、多、く、替、く、一、其、有、一、如  
右、取、次、人、多、く、一、御、能、無、く、一、法、定、一、等、一  
高、賞、停、止、と、作、付、は、地、名、お、割、法、人、多、く、一、信、濃  
国、に、在、る、御、用、お、救、く、有、右、下、巻、一、この、臺、お、有、  
且、又、在、方、言、其、終、ま、人、多、く、高、賞、い、多、一、お、候  
お、守、の、言、御、親、無、く、有、人、多、く、唐、お、御、親、事、  
下、巻、一、この、其、後、封、事、一、候、臺、お、は、在、ら、る  
于、旨、御、知、く、せ、は、この、也

一 世居文字限同位を掛ケ同くあるは定は限也  
被 作付らる有来し限小玉限之を交 渡  
法九方之序之故五同也

一 奥醫師多記安元醫學館津田依多所右安元儀  
世居本願は右師下之醫學道誠講釈也醫學師  
才子兼倍長醫學師 所醫學師教る醫學志士堂  
右學館く之師傳子治事之事

一 徳藏人文願業 勅許人文願を其子孫名宗  
者とし有るは海本宗は右師く之の其有る  
以て向後其名并官名其之自分より 右名宗は傳

之存無用は如徳同く 文願本願は傳之 可存  
胸子次也

一 百姓天大帶子依有るは一出生く子と産所を其  
殺し玉柄も有るは本師不仁之也其以業右師  
之儀無る指村後人夫勿辨 百姓天互之心を其  
幸陸下流盤多去列る右之限左師法有る由  
其外より其本願去て其曲事也

一 東海道中山左甲地中日光及中 奥別道中  
右者之臨鑑局其勿辨眼性事其本村く其  
宿名は臨人知る其而之役人其會醫師と至る

標榜正加一其首以料ハ以代信和原去願之地堅  
お屋五海在道中を行リし宿送リと云注色道し  
右旅人子連收無し送るリ其子左水ノ村  
役人ホ中走報敷半寄對後ノ上存寄  
但生過一若原用し子加宿持村送リと云  
送りし後松野去五海及ノ旅宿屋同屋  
年寄其余ノ村くとも宿宿一ノ村役人  
急云し仕至下付ハ

一 右ノ外五寄ノお原ハ旅人ハ其取ノ役人五寄  
醫師と掛一應用と加ノ句節懐中ニ往來手紙

有し以代信和原去願之地及注進  
い第ノ右病人子連收無し送り在取ノ宿完一第ノ元  
此ノも諸用貯無し送り屋兵以程中以下書付及  
其意寄ニ其妃役取有し以海ノ其在岡ノ宿  
又夫其妃役取無し場取夫其首注進ハ一其  
送後人ハ傳と送取後在病人取送リと認次村ハ  
駕籠ヲ送り夫占次ノ村くとも病人ノ根子次者  
宿後服茶同宿ニ其身在取ノ区一ノ道但旅人  
中一五ハ在取ノ送屋万一其在取ノ一其無し以下  
以取其前ニ其至そ取ノ一其出

一 途中之古果より次村へ之を送る事能く候所へ  
 被任是其所より候理に事至其より候に在所  
 親類村役人より合ふ事有らば其より候に  
 可任若居心老廻国に親類候中何国に  
 古果より其より候に葬り候事有らば其  
 寺院或ハ親類等候成之有らば其より  
 候所へ海に在り候に古果より候に其より  
 行候所在り候に其より候に其より候に  
 有らば其より候に其より候に其より候に  
 中程送り候に其より候に其より候に其より候に

類而右類に法以用方なき事候事有らば其より候に  
 病人又志在り候に其より候に其より候に其より候に  
 村割に其より候に

一 世上通用に古類親類在り候に其より候に其より候に  
 右志親類在り候に其より候に其より候に其より候に  
 其より候に其より候に其より候に其より候に

一 諸神社神事佛事等候に其より候に其より候に其より候に  
 御紋付品寄附候に其より候に其より候に其より候に  
 向後其より候に其より候に其より候に其より候に  
 右に廻養御紋其より候に其より候に其より候に其より候に



止事と得た在り大勢集り村役人之居宅又支  
言額を眼に納むるあり家元先法に具し打預  
吟集に取成りしとて数ヶ条預給申す一三ヶ条も有  
り得し由 公儀に重んじ願至る中官  
穩便に在るは儀と書知あり一三ヶ条百姓も  
かたうに取成り及糧藉子法に備へ有るは百姓と  
憐れ儀共向備へ儀にあり右脚徒輩と結  
漁獲と企及糧藉にありのたより子弱き取成り  
外場取成りも見知るに取成り以來は料取  
百姓もも強立たり一三ヶ条願至る由人数と出

私儀に強立たりしを願至る又一三ヶ条願至る人数  
と云子強く打掛おとす一三ヶ条撥捕取成り  
理取し河内子及を五上はこふ及他所に河内  
有るは一三ヶ条一願取成り一三ヶ条願至る  
是は味仕置儀に同し一力石より一三ヶ条取  
強は取し同取し一三ヶ条願至る  
右一三ヶ条以上一三ヶ条願至る一三ヶ条願至る  
知行一三ヶ条強立たり一三ヶ条願至る一三ヶ条願至る  
一三ヶ条願至る一三ヶ条願至る

明和七寅年

定

一 征事より此より後、  
 徒黨と唱ひ徒黨して、  
 強海といふ或ハ中合村方互通りとして、  
 前より、津法所より、  
 他村にかけ、  
 早して海人の根百枚、  
 海人同り、  
 右通下、  
 一旦同類、

あて、  
 海人の、  
 徒黨、  
 村役人、  
 根、  
 有、

昭和七年四月

在

一 関八列、  
 在、  
 在、



村々家々人引帳紙の上門前日お後日者有之  
兼改之との有之改改之仕至之付  
右書付村々之字有各事之完又去之孔場村々  
右改之仕に由張至村海人得之仕辨ひ  
百姓も之要利害之申之申之料去之代  
私改之願至地改之仕有之

明和九年

一 地度有之週月次授之上銀南緯之唱ひ銀  
或之歩判之 作付之有之歩判八之  
金之換文銀之銀大時之有之無之序  
之銀

一 銀事

右銀銀之切保之銀之金と同  
右心得之事

一 或之包之係之文字銀之遠い銀之包之  
右南緯之銀之  
係金と同之有之 作付之有之銀之

一 通困事

一 請沙之係去之西年係之師之記定之  
右係之世根之有之  
根山或八洞山根之助成之事之有之  
外之

等七十五二一節 請涉之係古願以上之元多  
有之以後古願以上之係古願以上之元多  
以旨向後涉之願以上之元多願以上之元多  
以係以上急度之付事

寶永二己年

一 武朱判之儀沙年直金其外法向上細金之因  
元文以上勿備皆武朱判之儀沙年直金其外法向上細金之因  
二 武朱判之儀沙年直金其外法向上細金之因  
三 武朱判之儀沙年直金其外法向上細金之因  
四 武朱判之儀沙年直金其外法向上細金之因  
五 武朱判之儀沙年直金其外法向上細金之因

武朱判之儀沙年直金其外法向上細金之因  
武朱判之儀沙年直金其外法向上細金之因  
武朱判之儀沙年直金其外法向上細金之因  
武朱判之儀沙年直金其外法向上細金之因  
武朱判之儀沙年直金其外法向上細金之因

一 武朱判之儀沙年直金其外法向上細金之因  
武朱判之儀沙年直金其外法向上細金之因  
武朱判之儀沙年直金其外法向上細金之因  
武朱判之儀沙年直金其外法向上細金之因  
武朱判之儀沙年直金其外法向上細金之因

當己年中、元集の江戸、寺社奉納  
月書に、後通達、後、右、或、許、院、文、古、集、  
古、免、略、院、文、と、右、徳、有、と、以、名、是、又、同、根、元、集、  
云々、云々、云々

一 角力無引、と名本戸、と建札、後、元、以、偏、去、角力と  
後世、いふ、その、偏、有、と、以、徳、久、祖、國、と、以、  
出、料、去、の、代、官、私、院、去、地、院、に、お、願、素、人、も、其、の、合、  
角力、お、信、其、外、神、事、等、と、名、も、角力、無、引、と、以、  
神、神、事、等、御、後、無、引、と、以、の、年、書、人、と、人、年、と、以、

後、来、の、嘉、剛、と、後、無、引、の、付、見、物、と、以、の、由、  
群、集、の、一、の、元、と、以、の、由、元、因、の、一、の、元、と、以、本、戸、と、  
建、札、後、未、法、名、の、偏、向、後、云、引、と、以、後、を、御、を、  
角力、後、無、引、の、去、格、別、と、以、事、と、以、の、由、元、因、と、以、  
在、方、と、以、の、由、元、因、と、以、後、と、以、

一 遊、幸、村、と、以、虚、無、信、院、の、御、の、集、り、百、姓、元、の、  
祿、多、り、と、以、名、偏、中、と、以、或、ハ、後、者、と、以、付、と、以、  
村、及、人、と、以、中、の、元、因、と、以、一、ハ、偏、去、と、以、止、宿、  
成、り、と、以、中、の、元、因、と、以、佛、と、以、居、合、と、以、元、と、以、又、ハ、



向去寺社在江且意國在江其紀陽云々其  
年江云々府中一箇八列并八列外云々也此料所  
分去中勘定奉行是箇八冊云々此料云々此代官  
陳屋有之向去此代官云々此料云々此代官  
後令云々主人云々此料云々此代官云々  
其云々云々此料云々

一 初而百姓所人ノ牌音人云々云々授授仲云々  
才子ニ成丈ノ海世修江い多一才子一官位と  
心掛云々云々此料云々授授一才子ニ云々此料云々

三 味綴計治導江等々海世程々い多一  
或ハ仕官ノ身ノ云々眼云々云々云々音人  
多々云々此料云々此料云々此料云々此料云々  
琴ノ味綴計治導江海世又ハ此家ノ此料  
抱云々市ノ中ニ住居い多一此料云々此料云々  
此料云々此料云々此料云々此料云々此料云々  
此料云々此料云々此料云々此料云々此料云々  
一 武家陪長ノ牌音人云々府中ニ住居い多一  
琴ニ味綴計治導江云々此料云々此料云々  
授授云々此料云々此料云々

但武家出生し、商人他は市中に居るは  
秘書場を構へ、才子集を刊し、いふ人々  
若かりし集をいふ、主人は方々  
撰授し、其記たりの事

一 百選所人、博、盲人、琴、三味線、針、活字、  
之、以、海、世、之、波、新、し、子、前、に、居、る、事、を、い、ふ、武、家、は  
其、抱、主、人、に、居、る、又、其、主、人、に、在、る、門、下、他、の、  
秘、し、子、後、分、支、制、外、の、事

地方扱集成后篇 卷之一 終

